

項目 形式	電源	電気特性				配線仕様									
		消費電力 (kW)	運転電流 (A)	力率 (%)	始動電流 (A)	電源容量 (kVA)	手元開閉器				配線太さ				
							配線用しゃ断器		B種ヒューズ		ユニット電源用 (金属管)	室内外 接続線	アース線		
							開閉器容量 (A)	過電流しゃ断器定格容量(A)	開閉器容量 (A)	過電流しゃ断器定格容量(A)			室内側	室外側	
ASJ800HV	冷	400V	26.5	47.9	80	189	41	100	100	100	100	22mm ²	2.0mm ²	5.5mm ²	Ø1.6mm
	暖	50Hz	23.0	43.0	77										
	冷	400V	33.4	55.0	88	170	47								
	暖	60Hz	28.6	46.1	90										
	冷	440V	33.4	50.0	88	183	47								
	暖	60Hz	28.6	41.9	90										
ASJ1120HV	冷	400V	34.0	60.5	81	175	52	100	100	100	100	38mm ²	2.0mm ²	5.5mm ²	Ø1.6mm
	暖	50Hz	31.9	58.5	79										
	冷	400V	44.3	71.5	87	164	61								
	暖	60Hz	41.1	68.5	87										
	冷	440V	44.3	65.0	87	172	61								
	暖	60Hz	41.1	62.3	87										
ASJ1400HV	冷	400V	43.5	77.0	82	218	65	225	125	200	150	38mm ²	2.0mm ²	14mm ²	Ø1.6mm
	暖	50Hz	37.8	69.5	79										
	冷	400V	55.5	89.0	90	204	75								
	暖	60Hz	48.1	77.5	90										
	冷	440V	55.5	80.9	90	213	75								
	暖	60Hz	48.1	70.5	90										

注1) 表中の配線太さは配線こう長20m，電圧降下を2%以内とした場合を示します。
配線こう長が20mを超える場合は配線太さを内線規定により見直してください。

3.7.7 能力特性

全形式とも対応する空冷標準ヒートポンプ機と同一です。39ページをご覧ください。

3.7.8 送風機特性

全形式とも対応する空冷標準ヒートポンプ機と同一です。47ページをご覧ください。

3.7.9 運転音

全形式とも対応する空冷標準ヒートポンプ機と同一です。54ページをご覧ください。

3.7.10 据付関連事項

- (1) トランス接続端子切換 (ASJ140H(T)V ~ 280H(T)Vは除く)
出荷時は400V 50/60Hz用の接続がされています。
440V，60Hzで使用する場合は下記の切換を実施してください。
 - (a) トランス1次側のⓂ相線をトランス近辺で切断します。尚，ASJ400HAV，560HVの場合はトランス1次側のⓂ相線をトランス端子台より外して440V側の端子台に付替えるだけで完了です。
 - (b) (a)項のトランス側切口はビニルテープ等で絶縁を確実にし，400Vであることを明示し，他に支障を来さぬように処理してください(遊ばせておく)。
 - (c) トランス近辺にあるトランスからのリード線(440Vのリードマーク付，絶縁処理されている)と，(a)項の電源側(Ⓜ相線)を接続する。接続個所の絶縁は確実に行ってください。
 以上ですが，トランス側のリード線のリードマークをなくさぬよう注意してください。
- (2) (1)項以外は全形式とも対応する空冷標準ヒートポンプと同一です。(60ページをご覧ください。)

3.7.11 仕様変更受注範囲一覧

全形式とも対応する空冷標準ヒートポンプ機と同一です。66ページをご覧ください。

3.7.12 防振設計用参考資料 148ページをご覧ください。

1.1.11 据付関連事項

ASJ140(H) ~ 1400H

(1) 室内ユニット

(a) サービススペース

ASJ140H, 140HT, 200H, 200HT, 280H, 280HT, 400HA, 560H }.. 前面 1m以上
 ASJ140, 140T, 200, 200T, 280, 280T, 400A, 560

ASJ630H, 800H.....(1)前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.9m以上, 背面0.35m以上取ってください。

(2)送風機軸交換のためには左右いずれかの側面最小1.65mのスペースが必要です。

ASJ1120H..... 前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.75m以上, 背面0.45m以上取ってください。

ASJ1400H..... (1)前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.75m以上, 背面0.5m以上取ってください。

(2)送風機軸交換のためには左1.4m以上, 右1.1m以上いずれかの側面にスペースが必要です。

(b) 電気ヒータ取付機の安全スペース (電気を熱源とする温風暖房機の設置に関する運用基準より)

上面10cm以上, 背面・側面 5 cm以上, 前面60cm以上, 吹出口前面 1 m以上。

(c) 加熱器組込み方向.....J140 ~ J560は正面より組込可能 J630, J800は左側面, 右側面および上面から組込可能 (据付前に組込んでおいてください。)

(2) 室外ユニット

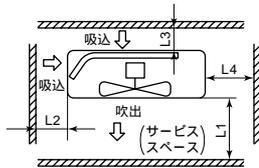
(a) 据付場所の選定

- 1) 据付部の床が強固な所。
- 2) 他の熱源から熱輻射を受けない所。
- 3) 吸込口・吹出口に風の障害のない所。
- 4) 吹出口に強風の当たらない所。
- 5) 騒音や熱風が近隣の迷惑とならない所。
- 6) ドレンが流れてもよい所。
- 7) 積雪で埋らない所。

(b) 据付スペース

(i) AUCJ140H, 140

下記の吸込・吹出・サービススペースを取ってください。



AUCJ140H, 140

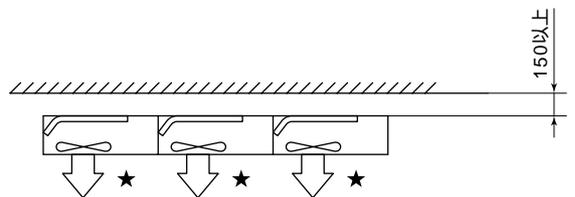
寸法	据付例	例1	例2	例3
L ₁		開放	開放	500
L ₂		300	0	開放
L ₃		150	300	150
L ₄		0	0	0

1) 複数台設置

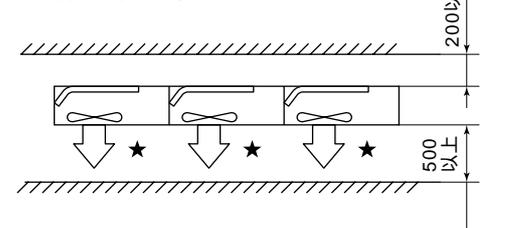
印はサービスパネル側を示します。

a) 左右連続設置

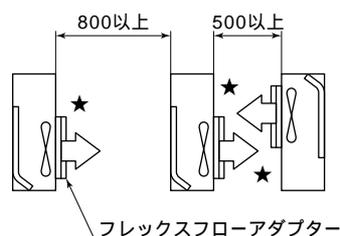
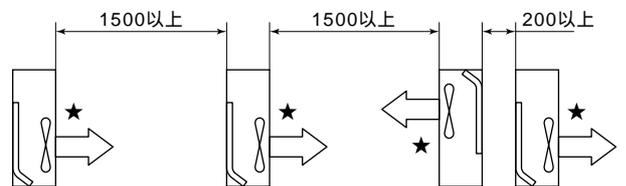
吹出側開放



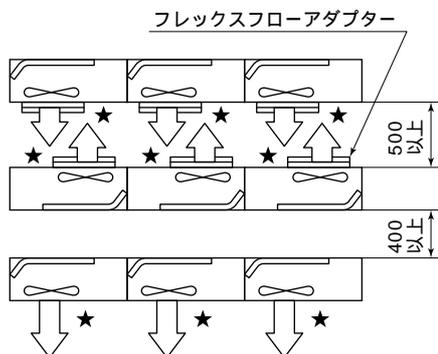
吹出側に障壁有り



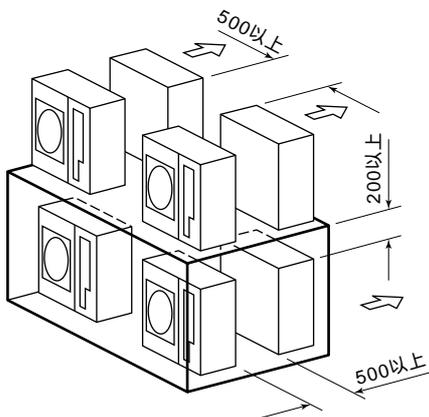
b) 対向設置



c) 左右連続・対向設置

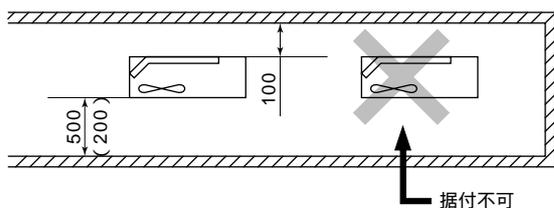


d) 架台を使用の場合



2) 細い路地に据付ける場合

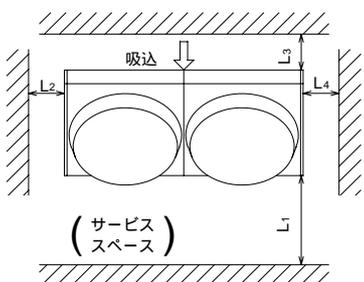
複数台の据付⇒据付不可 (四面障壁となる)



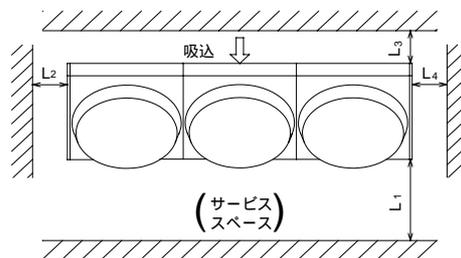
- 注(1) ()で囲む値はガイドルーバ使用の場合です。
- (2) 奥のユニットは四面障壁とみなせるので据付不可です。
- (3) 前記の四面障壁での据付可能条件を満たせば据付できます。

(ii) AUCJ200H, 280H, 400HA, 200, 280, 400A
下記の各スペースを取ってください。

AUCJ200H, 280H, 200, 280

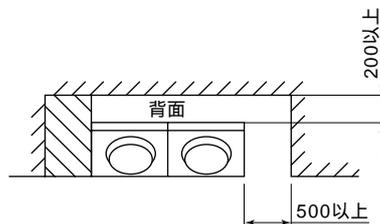


AUCJ400HA, 400A



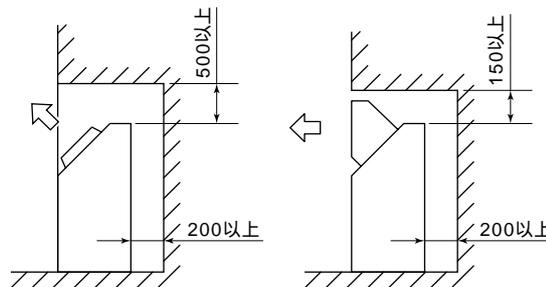
据付例 寸法			
L ₁	開放	開放	500
L ₂	0	500	500
L ₃	200	200	200
L ₄	500	0	500

1) 側面・背面に障害壁がある場合



注(1) 左側面 (印)を障害壁に密着しての設置もできます。その場合は右側面に500mm以上のスペースを設けてください。

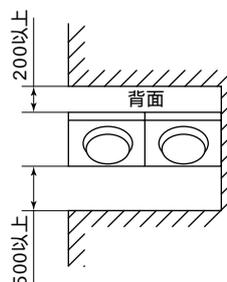
▶ 上部に障害物がある場合



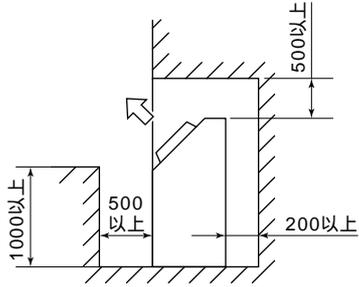
〔標準斜上吹き〕 〔横吹き〕

注(1) 横吹きは別売品の風向可変アダプタを取り付けた場合を示します。

2) 側面 (前後) に障害物がある場合

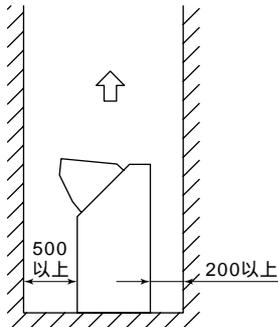


▶ 上部に障害物がある場合



〔標準斜上吹き〕

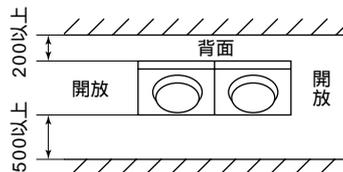
▶ 上部開放の場合



〔上吹き〕

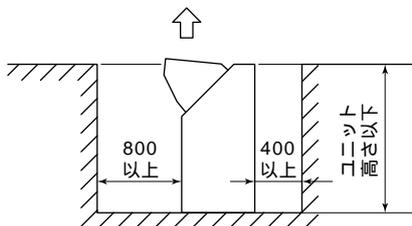
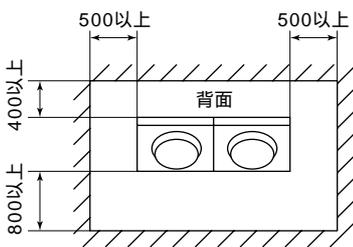
注(1) 〔横吹き〕〔上吹き〕は
いずれも別売品の風向
可変アダプタを取り付
けての場合作示します。

3) 路地等 (前後に障害物) への設置



注(1) ユニット上部のスペースは、前記の「側面(前・後面)に
障害物がある場合」と同じとしてください。

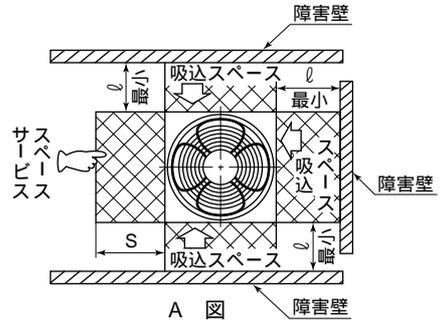
4) 四面障壁の場合



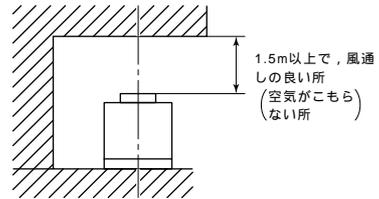
〔上吹き〕

注(1) 〔上吹き〕は別売
品の風向可変アダ
プタを取り付
けての場合作示

(iii) AUCJ355H, 450H

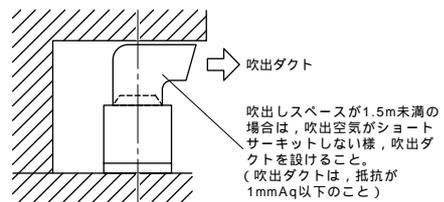


A 図



(B 図)

形式	項目	参考図	参考図各部寸法	
			l	S
AUCJ355H		A図	400	900
AUCJ450H		B図		



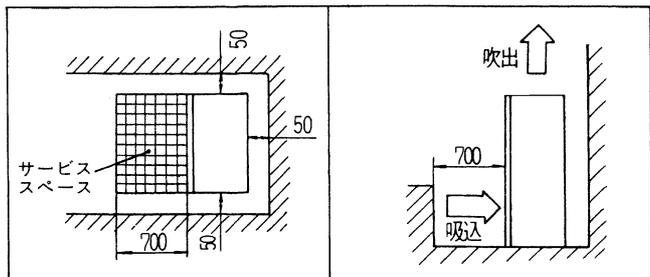
(B 図)

FDSJ140HD2, 200HD2, 280HD2

(1) 室内ユニット

(i) 据付場所の選定

- 1) 空調する部屋の形状，高さに応じ，冷風または温風が部屋に十分行きわたるよう据付場所，据付方向を選んでください。
- 2) 吸込口および吹出口の近くに風の障害となるようなものがない所
- 3) エアフィルタのサービス，パネルの着脱作業に支障のない所



- 4) 調理場，機械工場等に設置の場合は煙・油・蒸気等が直接ユニットに吸込まれない場所を選んでください。
- 5) 室外への配管，配線のしやすい所
- 6) 据付部が強固である所
- 7) 直射日光のあたらない所
- 8) 可燃性ガスが発生しない所
- 9) ドレン排水が完全にできる所
- 10) ユニット上部，側面にサービススペースが確保できる所
- 11) ユニートを水平にしてください。
- 12) 転倒防止のため本機を固定してください。

(2) 室外ユニットの据付

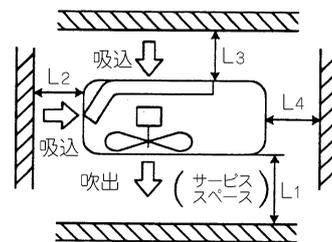
(a) 据付場所の選定

- 1) 室外ユニットの重量に耐えられる所。
- 2) 可燃性ガスの漏れる恐れのない所。
- 3) 空気がこもらない所。
- 4) 他の熱源から熱輻射を受けない所。
- 5) ドレンが流れてもよい所。
- 6) 騒音や熱風が隣家に迷惑をかけない所。
- 7) 吸込口，吹出口に風の障害物のない所。
- 8) 腐食性ガスの発生する所（温泉地等）。
- 9) 潮風が当たる所（海浜地区）。
- 10) 油煙が立ちこめる所。
- 11) 電磁波を発生する機械のある所。

(b) 据付スペース

(i) FDUUCJ140HD2

下記の吸込・吹出・サービススペースを取ってください。



据付例 寸法			
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	5	5	5

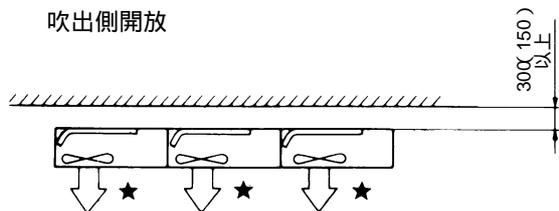
- 1) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
- 2) 四面障壁は不可です。上方のスペースは1m以上確保してください。
- 3) 横連続設置するときには，ユニット間に10mmのスペースを確保してください。
- 4) ショートサーキットの恐れのある場所はガイドルーバを取付けてください。
- 5) 複数台設置する場合には特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分確保してください。
- 6) 積雪によって，室外ユニットがふさがれてしまうような所は防雪工事を行ってください。
- 7) 強風の影響を受けやすい所は，防風対策を行ってください。

a) 複数台設置

▶左右連続設置

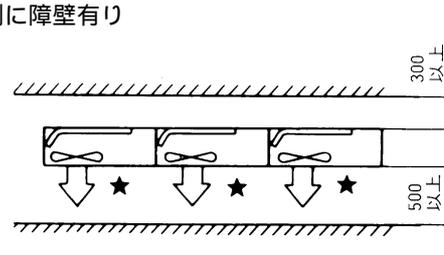
〔ユニット間に10mm以上の隙間を設けてください〕

吹出側開放

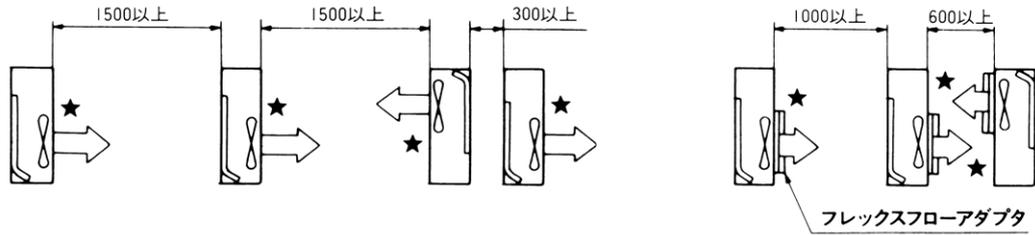


印はサービスパネル側を示します。

吹出側に障壁有り



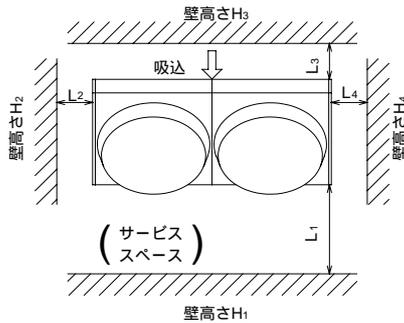
▶ 対向設置



(ii) FDUCJ200HD2, 280HD2

1) 単独設置

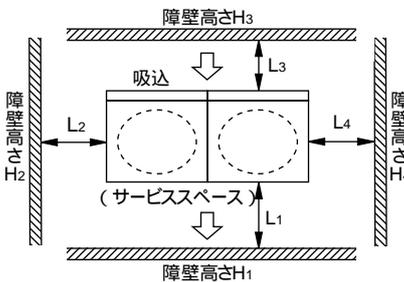
- ・標準斜め吹きまたは上吹き



(単位:mm)

寸法	据付例	I	II	III
L ₁		開放	開放	500
L ₂		0	0	0
L ₃		300	300	300
L ₄		開放	500	0
H ₁		—	—	1000以下
H ₂		制限なし	制限なし	制限なし
H ₃		制限なし	制限なし	700以下
H ₄		—	制限なし	制限なし

- ・横吹き



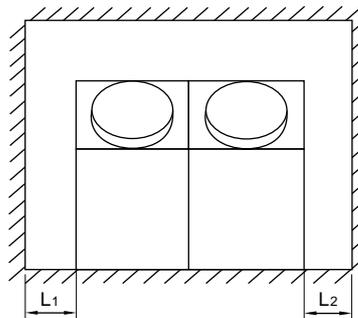
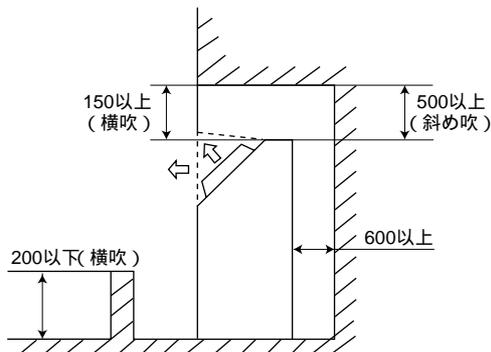
据付例 の壁高さH₁, H₃が制限値を越える場合は, L₁, L₃は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500$$

$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) / 2$$

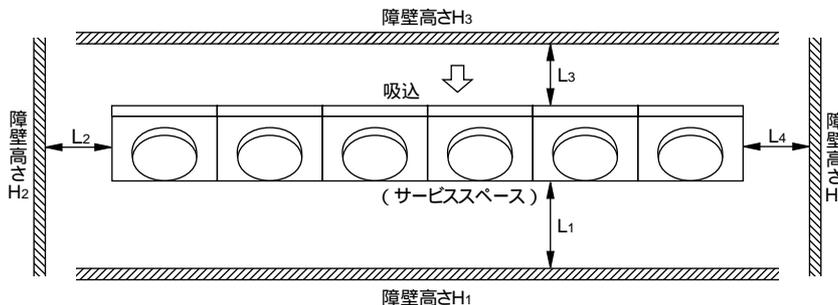
ただし, L₃ = 600を越えれば壁高さH₃の制限はありません。

2) 上部に障壁がある場合



L₁またはL₂ 350
L₁ + L₂ 750

3) 複数台設置 (横1列設置: 台数制限なし)



L ₁	500	H ₁	1000
L ₂	0	H ₂	制限なし
L ₃	300	H ₃	700
L ₄	0	H ₄	制限なし

注(1) 障壁高さH₁, H₃が制限値を超える場合はL₁, L₃は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500 \text{ (横吹きの場合, } L_1 \text{に} \text{関係なく} H_1 = 1000 \text{)}$$

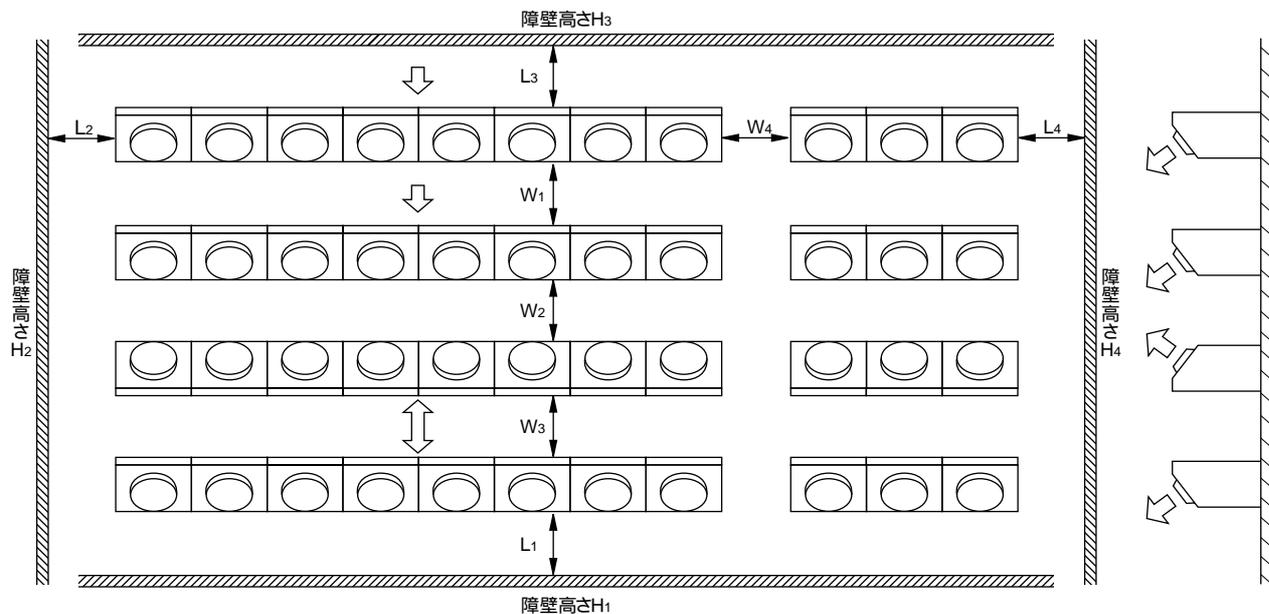
$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) / 2$$

ただし, L₃ = 600を超えれば障壁高さH₃の制限はありません。

4) 複数台設置 (縦横複数列設置)

注(1) 横吹きはできません。

(2) L₁, H₁はサービススペース側とします。L₃, H₃は吸込み側とします。



- L₁ 500 H₁ 1000
- L₂ 0 H₂ 制限なし
- L₃ 300 H₃ 700
- L₄ 0 H₄ 制限なし

(3) 障壁高さH₁, H₃が制限値を超える場合は, L₁, L₃は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500$$

$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) \times 2$$

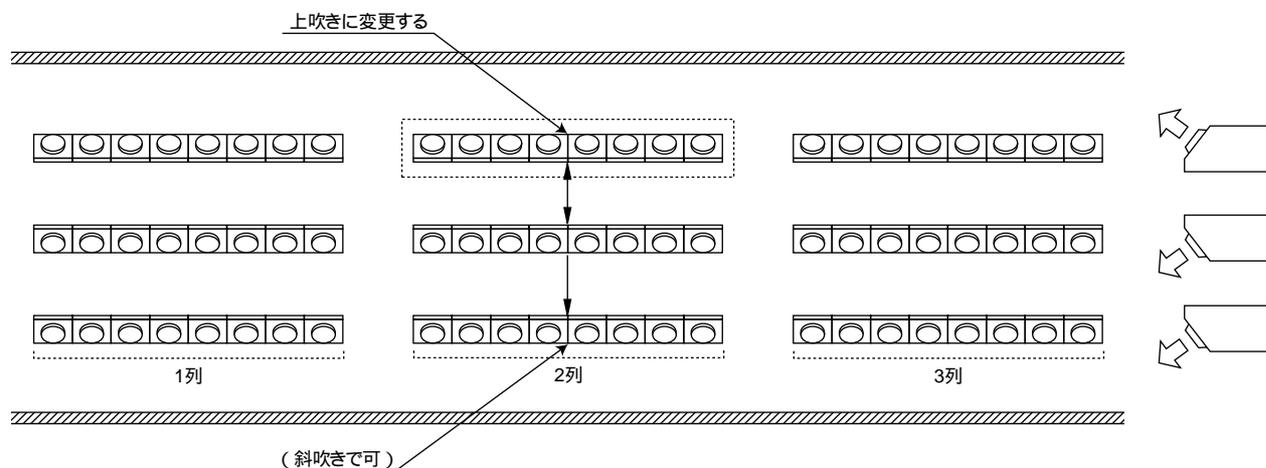
ただし, L₃ = 600を超えれば障壁高さH₃の制限はありません。

	W ₁	W ₂	W ₃	W ₄
斜吹き (標準)	1500以上	800以上	1500以上	1500以上
上吹き (オプション)	800以上	800以上	1500以上	1500以上

(4) W₄は送風機個数8個連続につき1500mmのスペースが必要です。

(5) 斜吹きで縦列3列以上に設置する場合には, 両端列を除いた中央列のうち, 壁面に吹き出しかつ後方のユニットと吸込み面で相対する一群を上吹き (オプション) に変更してください。

下記の例では2列目の1番上の群が該当します。



(6) 配管等を収めるラックは, 熱交へ流入する空気流を妨げないように設置願います。